

様式

技術名称	ハイグリップグラウト工法	技術の分類	施工	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	CB-180028-A
会社名等	ハイグリップグラウト工法研究会	担当者	大野康年		連絡先 052-362-6351
技術の概要	<p>本工法は、薬液注入工事(液状化対策、吸い出し対策等)にて使用する浸透注入工法である。本工法は、削孔壁にパッカーをかけることにより地盤内に大きな浸透源を設ける地山パッカ方式の浸透注入工法に分類され、1)地山パッカによる削孔穴からの薬液漏洩防止機能の強化、2)特殊シール材による大きな薬液浸透源の確保、3)薬液注入の集中管理システムによる注入管理の効率化により、施工時の注入ロスを低減し、従来工法と比較して注入効率を高めている。</p>			対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)
				添付資料	パンフの有無
その他の資料	協会積算資料				
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・二重管ダブルパッカ工法と比較して、削孔本数、排水汚泥処理費の低減、集中コントロールによる労務費の低減によりコストが30.5%削減できる。 ・二重管ダブルパッカ工法と比較して、削孔本数の低減、集中コントロールによる日当り注入量の増加により、工程が78%短縮できる。 ・既存施設直下地盤の改良、地中構造物周辺地盤の改良、既存施設の供用を止めない制約条件下の改良、狭隘箇所改良に適している。 ・粘性土地盤、細粒分含有率40%を超える砂地盤、地下水位以浅の地盤には適用できない。 ・布パッカーを使用する従来の地山パッカ方式の薬液注入工法と比較して、本工法の地山パッカは、充填材が漏洩しない構造(布とゴムの二重構造)とすることで地山パッカの収縮を抑制し、孔壁に地山パッカが確実に密着することから、削孔穴からの薬液漏洩が低減する。 ・本工法で使用する特殊シール材は、紙おむつ等で使用されている高給水性ポリマーを使用することから、二重管ダブルパッカ工法で使用するセメントベントナイトと比較して毒性、皮膚腐食性、刺激性が低く、安全性が高い。 			その他	<p>活用に当たって、以下の留意点が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許使用料が必要(特許番号:特許5107212号、特許6867649他) ・事前に配合試験を実施し薬液配合を設定する必要がある。 ・施工時には現場水注水試験を実施し、浸透注入可能な限界注入速度設定する必要がある。 ・施工時の周辺の水質管理は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」に基づきpH管理を観測井戸等で管理する必要がある。

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。